



【となりびと】外国人被災者報告会参加

23日、石巻市が行った外国人被災者調査の報告会に参加してきました。阪神淡路大震災の時はこのような調査は行われなかったそうで、この調査は画期的なものだと調査に携わった大学の研究者は言っていました。報告として強調していたのは、震災後、避難所などで外国人ということで嫌な思いをしたという人は割合としては少なかったが、1割程度は嫌な思いをしているといった点でした。

また現在、被災外国人が必要としているのは、相談相手や相談する機会とのこと。ほかにも実際に石巻で被災した中国籍や韓国籍の人たちが、ご自身の体験を話されました。(佐藤)

【気仙沼市】コミュニティセンター再建支援



気仙沼市本吉町前浜地区で進めているコミュニティセンター再建支援は、ようやく本体工事に入れる段階にまで進みました。建築確認申請の審査が11月上旬に無事完了し、本体工事に入るための法的な手続きは終わりました。9月から進んでいた造成工事も下旬には完了。住民ワークショップをするための作業小屋も住民の皆さんの力で建ち、いよいよ本体工事に入ります。(佐藤)



石巻市【仮設支援 ～つるしびな】



全国の皆さまに材料支援にご協力いただいている「つるしびな」作り。開始から4ヶ月が過ぎましたが、毎回大好評で、仮設の皆さんと地元ボランティアの方が、心を合わせて、和気あいあいと時間を過ごしていらっしゃいます。

また外からのボランティアの新しい顔ぶれの訪問も、皆さんとても喜んで下さいます。



石巻市【仮設支援 ～お茶っこ】



大森第二団地集会所では二回目、追波川河川団地では九回目とそれぞれのペースで、お茶っこサロンDVD鑑賞会を続けています。登場人物の台詞一つ一つに泣いたり笑ったり、鑑賞時間2時間30分があっという間に過ぎていきます。全国からお届けいただく銘菓も、となりびとお茶っこの大事な顔になっています。



石巻市【地域支援】



石巻市の団体・スワン国際協力の会と協働して夏に仕上げた花壇の花が咲き誇り、被災地に心温まる空間が出来上がりました(写真左下)。新たな花壇作りのため、ボランティアの皆様が草取りをしていただき、後日地元の皆様方が花を植えられました(写真右)。



石巻市【物資支援】



少なくなってきた物資支援ですが、11月は何件かお届けがありました。仙台で今季の初雪が降る中、東京から布団の物資提供をいただき、支援先の宅老所にお届けしました。また、仮設で子どもの支援をしている団体に絵本や文房具など、使えるようなものをお届けしました。



にっこり仮設団地集会所には、登米市の製材所から端材を提供いただき、それを使って台所のサイズに合う棚などを作り設置しました。



東日本大震災ルーテル教会救援 2012年 11月活動概要

1. 活動地域 宮城県(気仙沼市、石巻市、東松島市、登米市) 福島県(南相馬市)
2. ボランティア受け入れ 11月 6名(教会 5名/一般 1名)
3. 物資支援の実績 11月 総数 3件
4. 仮設支援の実績 お茶会 11月 4回開催(のべ66名参加)
つるしびな 11月 3回開催(のべ54名参加)
5. 被災地関連商品の販売実績 11月 210,900円(教会バザー 4件/学校関係2件)

